

福島県への継続支援

5月12日、福島県の佐藤雄平知事に県と県内市町村長との会議に出席いただきました。私は全国知事会の東日本大震災復興協力本部長として知事会を代表して被災3県への都道府県からの応援職員派遣の取りまとめをはじめ、さまざまな支援活動を行っています。

また、3月末に福島県いわき市に移転するまで、福島県双葉町が加須市の旧騎西高校に役場丸ごと避難していたこともありました。こうしたこともあって、佐藤知事から、埼玉県および県民にお礼を申し上げたいという話がありました。そこで、市町村長が一堂に集まるこの会議で、福島県の現状についてのご講演をお願いしました。

実は、被災一年を過ぎた頃、佐藤知事から電話がかかってきました。「埼玉県から福島県への修学旅行がほぼゼロになってしまった」、「会津若松

などは何の問題もないんだけど…」との内容でした。確かに会津若松市の空間放射線量は当時でも国が示した基準値を大幅に下回っていました。

早速、県教育長を通じて、県内の市町村教育委員会に福島県への修学旅行の復活をお願いしました。しかし、結果はほとんど変わりませんでした。

そこで今回、この会場に市町村教育長にもご出席いただくことにしました。福島県知事からの話をじかに聞いていただくことも有効だと考えたからです。

佐藤知事は会議で、これまでの双葉町民への支援をはじめ、埼玉県の支援に感謝の意を表されました。その上で、復興への道のりもまだ遠く、引き続き支援をお願いしたいと強調されました。特に大震災を風化させてはならない。い



▲佐藤雄平福島県知事(左)と上田清司埼玉県知事(5月12日)

まだに苦しめられている風評被害を払拭しなければならない。そのためにもぜひ多くの人に、福島県の現在を見ていただきたい。また、安全安心な県産品を味わっていただきたいという願いがありました。

福島県の応援には、福島県に観光に行ったり、物産を購入することがいいそうです。県民の皆さまにもご理解を賜りたいと思います。できることから福島県の応援を継続していきましょう。

埼玉県知事 上田 清司